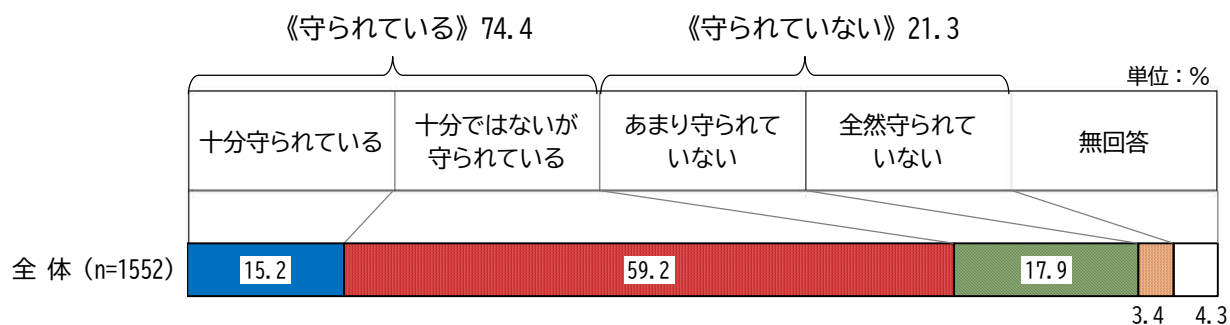


6. 人権意識

(1) 人権が守られているか

◇《守られている》が7割を超え、《守られていない》が2割強

問 21 あなたは、今の社会は人権が守られていると思いますか。(○は1つだけ)



(注) 《守られている》＝「十分守られている」＋「十分ではないが守られている」

《守られていない》＝「あまり守られていない」＋「全然守られていない」

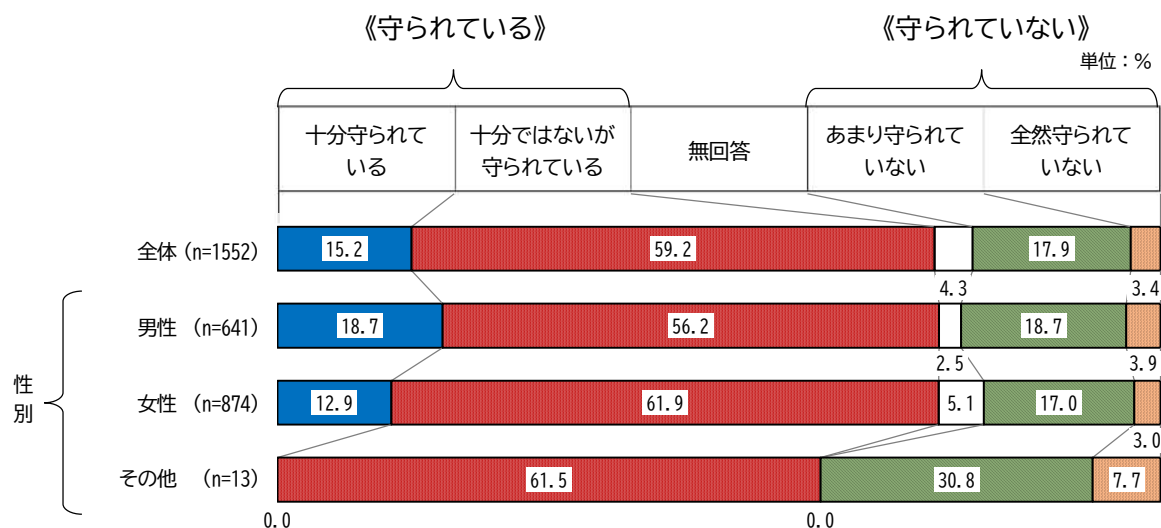
人権が守られているか聞いたところ、「十分守られている」(15.2%)と「十分ではないが守られている」(59.2%)を合わせた《守られている》(74.4%)の割合は7割を超えている。

一方、「あまり守られていない」(17.9%)と「全然守られていない」(3.4%)を合わせた《守られていない》(21.3%)は2割強となっている。

性別でみると、「十分守られている」と「十分ではないが守られている」を合わせた《守られている》は男性（74.9%）と女性（74.8%）で大きな差はみられない。

一方、「あまり守られていない」と「全然守られていない」を合わせた《守られていない》は男性（22.6%）が女性（20.0%）より 2.6 ポイント高くなっている。

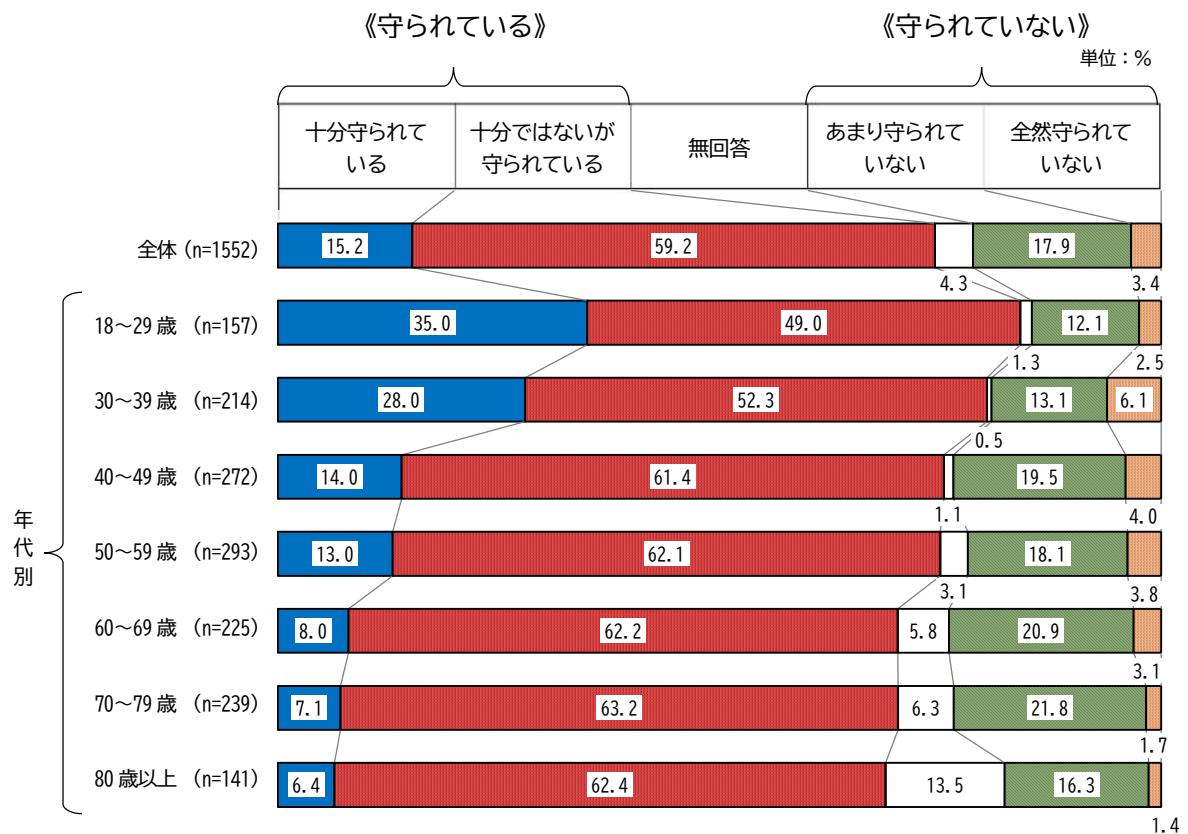
人権が守られているか 性別



年代別でみると、「十分守られている」と「十分ではないが守られている」を合わせた《守られている》は年齢層が低いほど割合が高い傾向にあり、18～29歳（84.0%）では8割半ば近くとなっている。

一方、「あまり守られていない」と「全然守られていない」を合わせた《守られていない》は60～69歳（24.0%）と40～49歳、70～79歳（23.5%）が2割半ばとなっている。

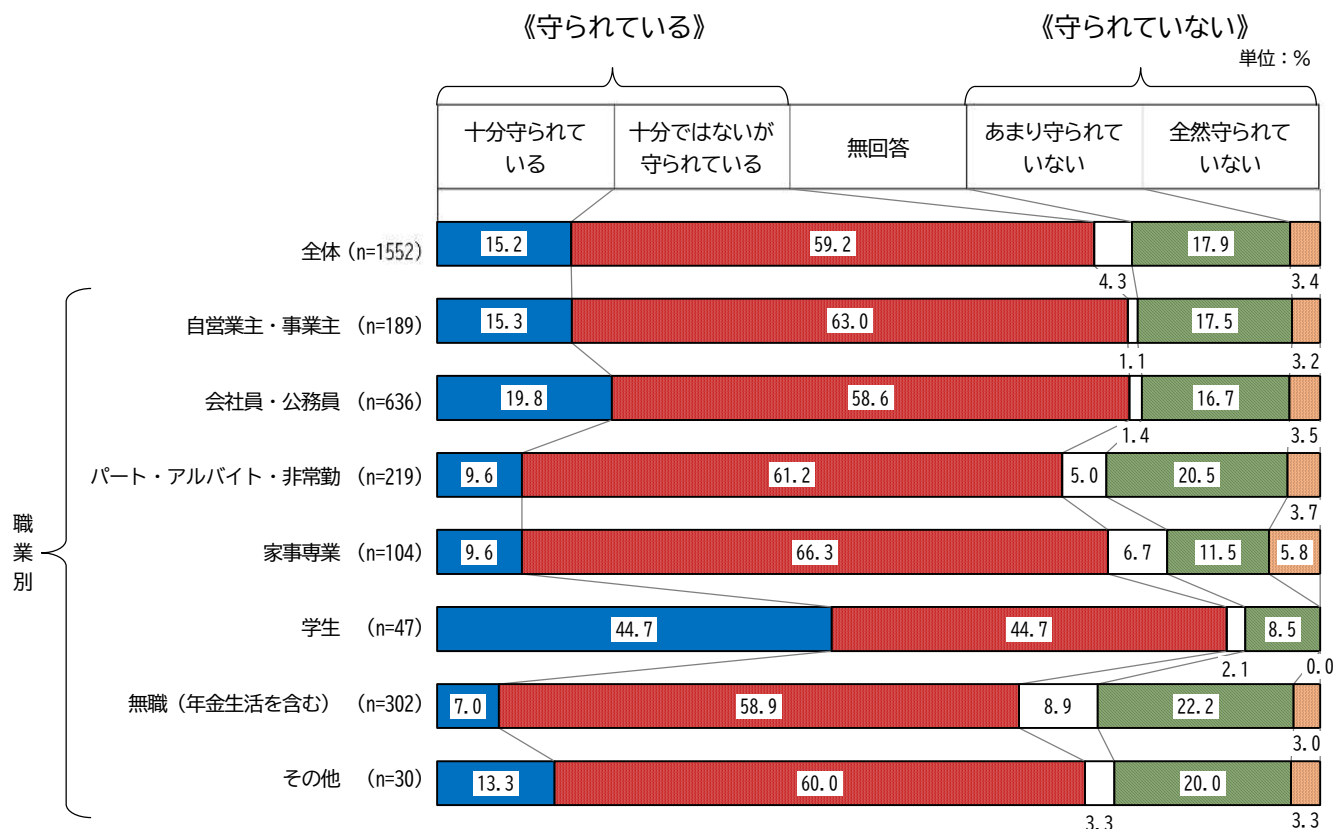
人権が守られているか 年代別



職業別でみると、「十分守られている」と「十分ではないが守られている」を合わせた《守られている》は学生（89.4%）で9割弱と最も高くなっている。

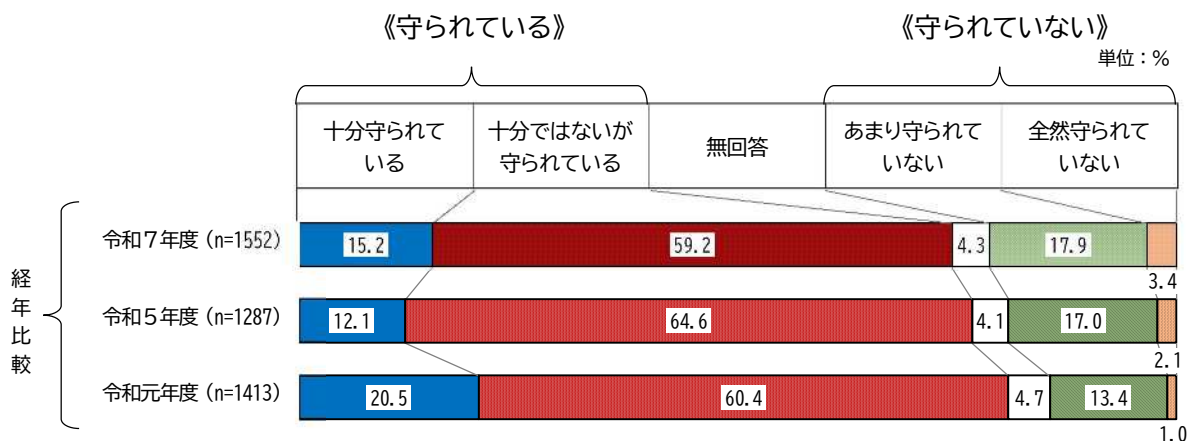
一方、「あまり守られていない」と「全然守られていない」を合わせた《守られていない》は無職（年金生活を含む）（25.2%）が2割半ばと最も高くなっている。

人権が守られているか 職業別



経年比較でみると、「十分守られている」と「十分ではないが守られている」を合わせた《守られている》は、令和元年度が80.9%、令和5年度が76.7%、令和7年度が74.4%で、年々減少している。一方、「あまり守られていない」と「全然守られていない」を合わせた《守られていない》は、令和元年度が14.4%、令和5年度が19.1%、令和7年度が21.3%で、年々増加している。

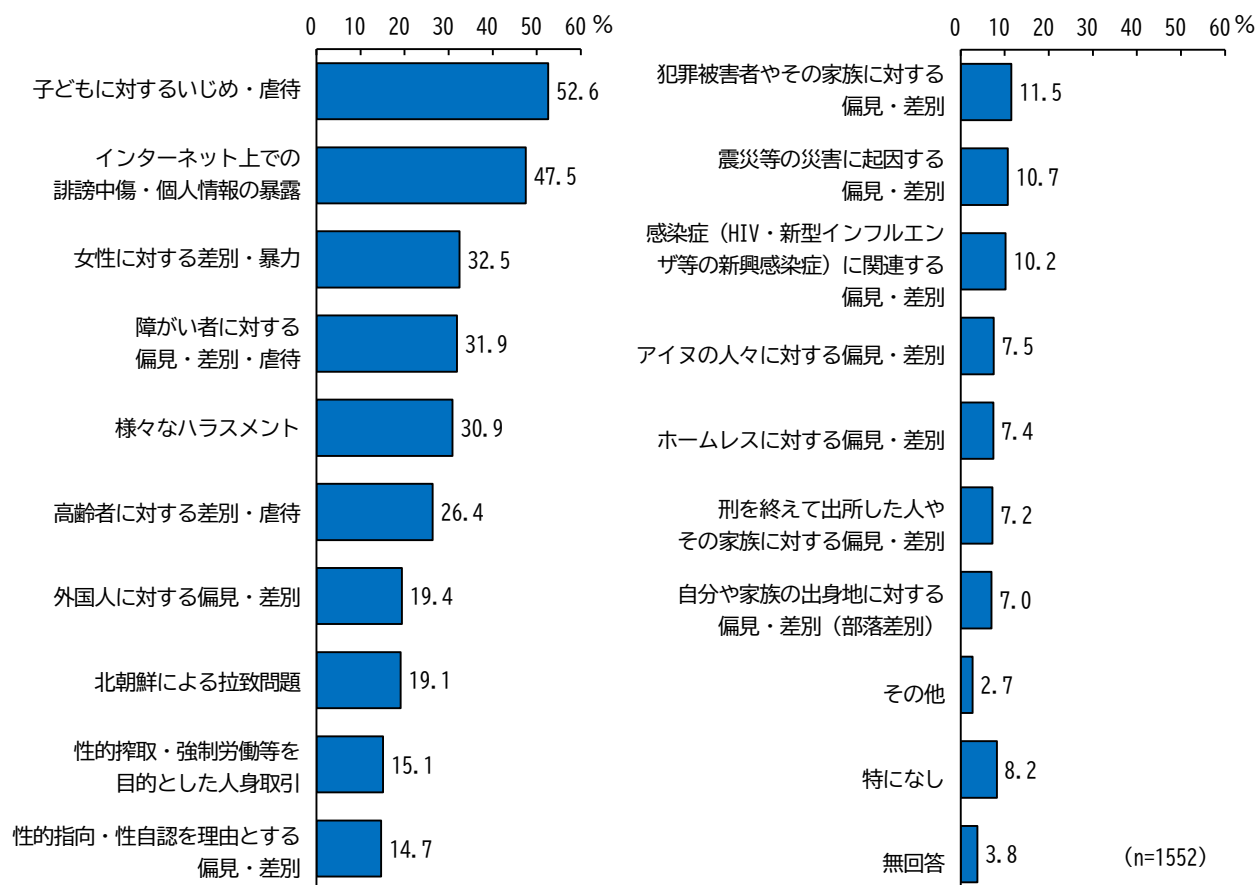
人権が守られているか 経年比較



(2) 関心のある人権問題

◇「子どもに対するいじめ・虐待」が5割強

問 22 あなたが、関心があり、解消に向けて取り組むべきと考える人権問題は何ですか。
(○はいくつでも)



関心のある人権問題について聞いたところ、「子どもに対するいじめ・虐待」（52.6%）が5割強と最も高く、次いで「インターネット上での誹謗中傷・個人情報の暴露」（47.5%）が5割近くで高くなっている。

性別でみると、男女とも「子どもに対するいじめ・虐待」の割合が最も高く、女性（55.4%）が5割半ば、男性（49.6%）が5割弱で女性の方が6ポイント近く高くなっている。また、「女性に対する差別・暴力」は女性（38.0%）が男性（25.0%）より13.0ポイント高くなっている。

関心のある人権問題 性別

単位：%

	子どもに対するいじめ・虐待	インターネット上での誹謗中傷・個人情報の暴露	女性に対する差別・暴力	障がい者に対する偏見・差別・虐待	様々なハラスメント	高齢者に対する差別・虐待	外国人に対する偏見・差別	北朝鮮による拉致問題	性的搾取・強制労働等を目的とした人身取引	性的指向・性自認を理由とする偏見・差別
全体 (n=1552)	52.6	47.5	32.5	31.9	30.9	26.4	19.4	19.1	15.1	14.7
性別	男性 (n=641)	49.6	46.0	25.0	31.0	29.2	22.6	21.2	19.0	14.0
	女性 (n=874)	55.4	48.5	38.0	32.5	32.0	29.3	18.0	18.8	15.7
	その他 (n=13)	46.2	61.5	69.2	30.8	53.8	23.1	30.8	30.8	30.8

	犯罪被害者やその家族に対する偏見・差別	震災等の災害に起因する偏見・差別	感染症（HIV・新型インフルエンザ等の新興感染症）に関連する偏見・差別	アイヌの人々に対する偏見・差別	ホームレスに対する偏見・差別	刑を終えて出所した人やその家族に対する偏見・差別	自分や家族の出身地に対する偏見・差別（部落差別）	その他	特になし	無回答
全体 (n=1552)	11.5	10.7	10.2	7.5	7.4	7.2	7.0	2.7	8.2	3.8
性別	男性 (n=641)	11.7	10.9	10.6	7.2	8.9	7.6	8.3	3.4	8.9
	女性 (n=874)	11.1	10.5	9.6	7.3	6.1	6.5	5.7	2.3	7.7
	その他 (n=13)	23.1	15.4	23.1	23.1	23.1	23.1	15.4	0.0	0.0

年代別でみると、「子どもに対するいじめ・虐待」は30～49歳が6割台と高くなっている。「インターネット上での誹謗中傷・個人情報の暴露」は40～79歳が5割台と高くなっている。

関心のある人権問題 年代別

単位：％

		子どもに対するいじめ・虐待	インターネット上での誹謗中傷・個人情報の暴露	女性に対する差別・暴力	障がい者に対する偏見・差別・虐待	様々なハラスメント	高齢者に対する差別・虐待	外国人に対する偏見・差別	北朝鮮による拉致問題	性的搾取・強制労働等を目的とした人身取引	性的指向・性自認を理由とする偏見・差別
全体 (n=1552)		52.6	47.5	32.5	31.9	30.9	26.4	19.4	19.1	15.1	14.7
年代別	18～29歳 (n=157)	48.4	43.3	37.6	24.2	31.8	14.6	21.7	12.1	19.7	13.4
	30～39歳 (n=214)	62.1	43.0	36.0	26.2	32.7	15.9	22.4	10.7	21.5	18.7
	40～49歳 (n=272)	63.2	50.0	34.9	35.7	37.1	21.7	21.0	14.7	16.9	17.6
	50～59歳 (n=293)	46.8	50.2	29.7	30.4	31.4	31.1	18.1	17.1	13.3	14.7
	60～69歳 (n=225)	56.0	53.8	35.6	40.0	27.6	36.9	18.7	22.2	11.6	12.9
	70～79歳 (n=239)	49.0	52.3	33.1	37.2	32.6	31.4	22.2	31.0	15.1	16.3
	80歳以上 (n=141)	37.6	32.6	19.1	22.7	18.4	29.8	9.2	28.4	7.8	5.7
		犯罪被害者やその家族に対する偏見・差別	震災等の災害に起因する偏見・差別	感染症(HIV・新型インフルエンザ等の新興感染症)に関連する偏見・差別	アイヌの人々に対する偏見・差別	ホームレスに対する偏見・差別	刑を終えて出所した人やその家族に対する偏見・差別	自分や家族の出身地に対する偏見・差別(部落差別)	その他	特になし	無回答
全体 (n=1552)		11.5	10.7	10.2	7.5	7.4	7.2	7.0	2.7	8.2	3.8
年代別	18～29歳 (n=157)	12.7	13.4	10.2	7.0	8.3	5.7	8.3	2.5	4.5	1.9
	30～39歳 (n=214)	9.8	11.2	7.9	4.7	7.5	5.6	7.5	4.2	5.6	0.5
	40～49歳 (n=272)	15.8	9.9	9.6	8.5	6.6	7.0	8.5	3.3	7.0	1.5
	50～59歳 (n=293)	9.9	10.9	9.6	6.5	6.5	7.2	5.1	4.1	11.6	1.7
	60～69歳 (n=225)	12.4	11.6	10.7	9.3	6.2	9.3	9.8	2.2	7.6	1.3
	70～79歳 (n=239)	11.3	11.7	15.5	10.5	11.7	9.6	6.7	0.8	10.9	5.0
	80歳以上 (n=141)	6.4	4.3	7.1	5.0	3.5	3.5	2.1	0.7	9.2	19.1

人権が守られているか別でみると、「様々なハラスメント」は人権が守られていないと思う人ほど割合が高くなっており、「全然守られていない」（47.2％）では4割半ばを超えている。「十分ではないが守られている」と回答した人では、「子どもに対するいじめ・虐待」（55.5％）を選択した割合が5割半ば、「あまり守られていない」と回答した人では、「子どもに対するいじめ・虐待」（54.7％）と「インターネット上での誹謗中傷・個人情報の暴露」（54.7％）を選択した割合が5割半ば近くと高くなっている。

関心のある人権問題 人権が守られているか別

単位：％

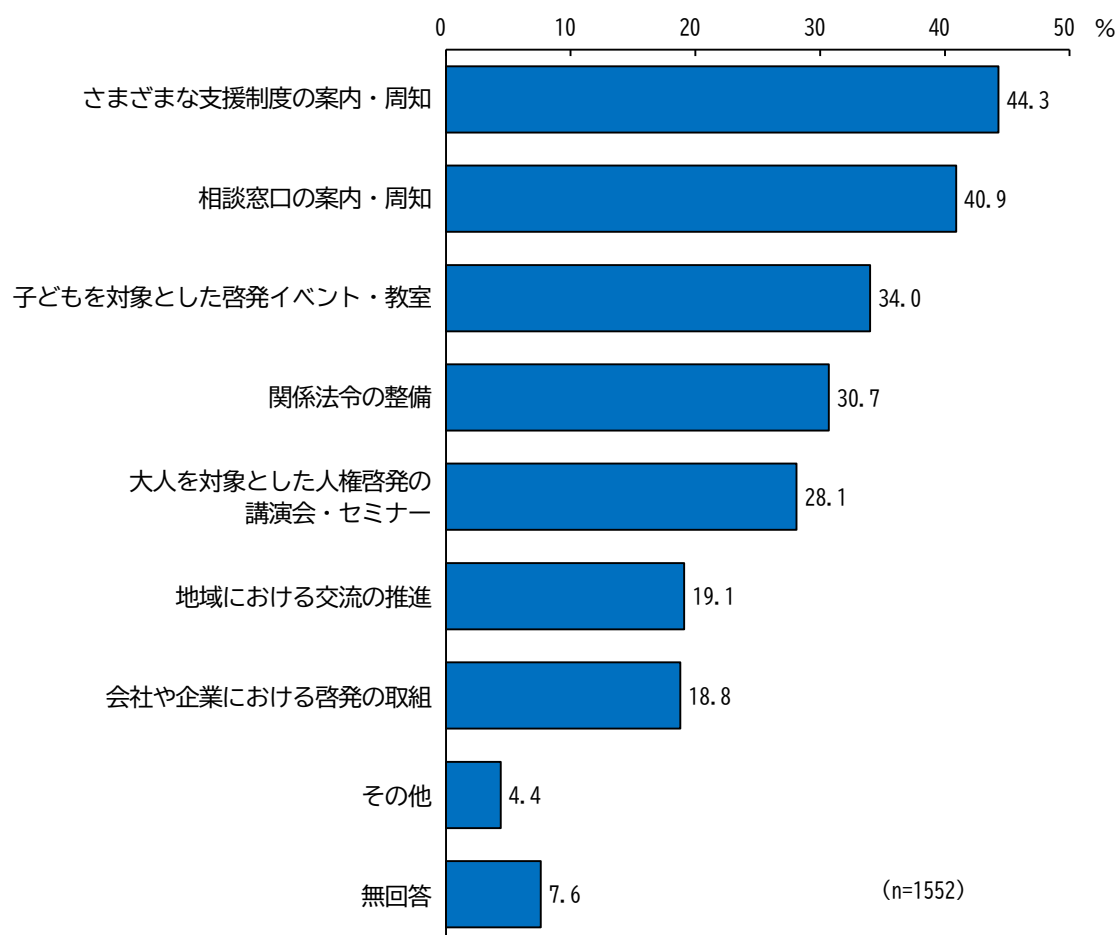
		子どもに対するいじめ・虐待	インターネット上での誹謗中傷・個人情報の暴露	女性に対する差別・暴力	障がい者に対する偏見・差別・虐待	様々なハラスメント	高齢者に対する差別・虐待	外国人に対する偏見・差別	北朝鮮による拉致問題	性的搾取・強制労働等を目的とした人身取引	性的指向・性自認を理由とする偏見・差別
全体 (n=1552)		52.6	47.5	32.5	31.9	30.9	26.4	19.4	19.1	15.1	14.7
人権が守られているか別	十分守られている (n=236)	47.0	39.0	21.2	22.0	21.2	17.4	18.2	15.3	11.4	6.8
	十分ではないが守られている (n=919)	55.5	49.6	34.6	34.5	30.5	27.4	18.8	20.2	14.9	14.8
	あまり守られていない (n=278)	54.7	54.7	38.5	35.6	40.3	31.7	24.1	20.5	19.4	21.2
	全然守られていない (n=53)	41.5	41.5	37.7	24.5	47.2	26.4	18.9	18.9	18.9	18.9

		犯罪被害者やその家族に対する偏見・差別	震災等の災害に起因する偏見・差別	感染症（HIV・新型インフルエンザ等の新興感染症）に関連する偏見・差別	アイヌの人々に対する偏見・差別	ホームレスに対する偏見・差別	刑を終えて出所した人やその家族に対する偏見・差別	自分や家族の出身地に対する偏見・差別（部落差別）	その他	特になし	無回答
全体 (n=1552)		11.5	10.7	10.2	7.5	7.4	7.2	7.0	2.7	8.2	3.8
人権が守られているか別	十分守られている (n=327)	7.6	7.6	7.6	5.9	7.2	5.1	6.8	2.1	15.3	0.8
	十分ではないが守られている (n=239)	12.0	9.5	10.8	6.6	5.3	7.1	6.0	2.0	7.1	2.5
	あまり守られていない (n=211)	13.3	17.3	10.8	10.4	13.3	9.0	10.8	4.7	5.8	1.4
	全然守られていない (n=168)	17.0	15.1	11.3	15.1	17.0	9.4	7.5	11.3	9.4	1.9

(3) 多様性を認め合う社会の実現に必要な取組

◇「さまざまな支援制度の案内・周知」が4割超

問 23 すべての人の人権が尊重され、多様性を認め合う社会を実現するためには、どのような事業や取組が必要だと考えますか。(〇はいくつでも)



多様性を認め合う社会の実現に必要な取組について聞いたところ、「さまざまな支援制度の案内・周知」(44.3%)が4割を超え最も高く、以下、「相談窓口の案内・周知」(40.9%)、「子どもを対象とした啓発イベント・教室」(34.0%)が続いている。

性別でみると、男女とも「さまざまな支援制度の案内・周知」の割合が最も高く、女性（49.8%）が5割弱、男性（38.1%）が4割近くで女性の方が11.7ポイント高くなっている。「相談窓口の案内・周知」は女性（45.1%）が男性（35.4%）より9.7ポイント高くなっている。

多様性を認め合う社会の実現に必要な取組 性別

単位：％

		さまざまな支援制度の案内・周知	相談窓口の案内・周知	子どもを対象とした啓発イベント・教室	関係法令の整備	大人を対象とした人権啓発の講演会・セミナー	地域における交流の推進	会社や企業における啓発の取組	その他	無回答
全体 (n=1552)		44.3	40.9	34.0	30.7	28.1	19.1	18.8	4.4	7.6
性別	男性 (n=641)	38.1	35.4	32.4	33.4	27.3	20.3	18.7	6.6	7.0
	女性 (n=874)	49.8	45.1	35.2	28.9	28.6	18.6	18.9	2.7	7.3
	その他 (n=13)	46.2	46.2	38.5	38.5	38.5	7.7	38.5	23.1	0.0

年代別でみると、「相談窓口の案内・周知」は40～49歳（33.8%）と30～39歳（31.3%）が3割台と他の年齢層より低くなっている。「さまざまな支援制度の案内・周知」は60～69歳（50.7%）が5割、「子どもを対象とした啓発イベント・教室」は40～49歳（44.1%）が4割半ば近くと高くなっている。「関係法令の整備」は18～49歳が4割近くと高くなっている。

多様性を認め合う社会の実現に必要な取組 年代別

単位：％

		さまざまな支援制度の案内・周知	相談窓口の案内・周知	子どもを対象とした啓発イベント・教室	関係法令の整備	大人を対象とした人権啓発の講演会・セミナー	地域における交流の推進	会社や企業における啓発の取組	その他	無回答
全体 (n=1552)		44.3	40.9	34.0	30.7	28.1	19.1	18.8	4.4	7.6
年代別	18～29歳 (n=157)	43.9	41.4	28.7	38.2	21.7	16.6	24.2	1.3	6.4
	30～39歳 (n=214)	41.6	31.3	37.9	38.3	27.1	16.8	22.0	5.6	3.7
	40～49歳 (n=272)	44.1	33.8	44.1	38.6	33.8	19.5	22.1	6.6	4.8
	50～59歳 (n=293)	44.4	40.3	27.6	32.1	25.9	18.1	18.1	7.5	4.1
	60～69歳 (n=225)	50.7	49.3	36.4	29.8	28.4	22.2	19.6	4.0	3.6
	70～79歳 (n=239)	47.7	50.6	32.6	21.8	32.6	20.5	15.9	1.3	10.5
	80歳以上 (n=141)	35.5	41.8	27.7	10.6	22.7	20.6	7.8	2.1	25.5

人権が守られているか別でみると、「子どもを対象とした啓発イベント・教室」は人権が守られていると思う人ほど割合が高く、「十分守られている」(36.9%)では3割半ばを超えている。「さまざまな支援制度の案内・周知」は「十分ではないが守られている」(48.1%)が5割近く、「相談窓口の案内・周知」は「あまり守られていない」(44.6%)と「十分ではないが守られている」(43.6%)が4割半ば近くと高くなっている。「関係法令の整備」は「全然守られていない」(41.5%)が4割強と高くなっている。

多様性を認め合う社会の実現に必要な取組 人権が守られているか別

単位：％

		さまざまな支援制度の案内・周知	相談窓口の案内・周知	子どもを対象とした啓発イベント・教室	関係法令の整備	大人を対象とした人権啓発の講演会・セミナー	地域における交流の推進	会社や企業における啓発の取組	その他	無回答
全体 (n=1552)		44.3	40.9	34.0	30.7	28.1	19.1	18.8	4.4	7.6
人権が守られているか別	十分守られている (n=236)	34.7	31.8	36.9	31.4	25.4	21.2	18.6	4.2	5.5
	十分ではないが守られている (n=919)	48.1	43.6	35.4	28.9	29.6	19.4	18.3	3.7	5.4
	あまり守られていない (n=278)	43.5	44.6	33.5	37.1	29.9	19.4	20.9	5.0	5.8
	全然守られていない (n=53)	37.7	30.2	17.0	41.5	18.9	11.3	24.5	18.9	15.1